

国際学部清水研究室
宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター 福島原発震災に関する研究フォーラム共催



基盤教育科目「3.11と学問の不確かさ」公開授業

「なぜ1万人の原発事故被害者が訴訟を起こしているのか」

2011年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故後、全国各地で30件にのぼる集団訴訟が起こされ、1万2000人をこえる被害者が訴訟に関わってきました。なぜこれらの裁判が起こされたのか、裁判によって何が明らかになったのかについて考えます。ぜひご参加ください。

日時：2021年7月21日（水曜日）16：00-17：30

講師：除本理史（よけもとまさふみ）先生（大阪市立大学大学院経営学研究科教授）

1971年、神奈川県生まれ。博士（経済学、一橋大学）。専門は環境政策論・環境経済学。岩波書店『環境と公害』編集同人。公害問題を踏まえ、福島原発事故の賠償や被災地の復興を研究。著書に『公害から福島を考える』（岩波書店）など。

開催方法：Zoomを使ってオンラインで行います（参加費無料・15時50分から入室可能）

参加方法：履修生以外で聴講を希望される方は、7月19日月曜日までに下記のGoogleフォームに必要事項を入力してください。参加するために必要な情報をお知らせします。申込先：<https://forms.gle/E5kvzHofV67Ccz89>

問い合わせ先：uuforumsymposium@gmail.com 国際学部 清水研究室宛て